令和5年度 施策事前評価シート

施策責任者所属	健康増進課 福祉保険課	電話番号		直通	986-8769 989-5513
基本目標	いきいきとした暮らしを支える　優しいながいずみ				
政策	健康で幸福を実感できるまちの実現	施策分野	保健・医療		
施策分野の総事業費	前年度決算額	205,206　千円	今年度予算額	227,156　千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	単位	進捗評価
1	特定健康診査の受診率	目標値		50	51	52	53	55	%	C
		実績値	48.0	46.3	47.5					
2	特定保健指導の実施率	目標値		37	41	45	47	50	%	E
		実績値	30.0	34.3	33.0					
3	がん検診精密検査平均受診率	目標値		85	87	89	89	90	%	E
		実績値	82.4	78.0	76.4					
4		目標値								
		実績値								

総合評価	C：進捗が思わしくない

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	国民健康保険事業、特定健診未受診者勧奨の実施、特定保健指導勧奨の実施、がん検診受診者勧奨の実施
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・特定健診受診率および特定保健指導実施率については、いずれも国、県の平均値より高いが、国が定める目標値には達していない。特定保健指導については、国が定める目標値との乖離が大きいため、勧奨方法の改善が必要である。 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、特定健診の受診を控える傾向にある。 ・がんが町民の疾病による死亡の最大の原因となっており、総合的にがん対策を推進する必要がある。 ・国民健康保険被保険者は年々減少傾向にあるものの、一人当たりの医療費は増加傾向にある。 ・感染症対策を徹底して行い、安心して受診できる健診環境を整える必要がある。 ・各種がん検診における精密検査受診率については、前年度と大きな変化はないが、受診率向上のための効果的な受診勧奨を引き続き行っていく必要がある。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・特定健診受診率向上に向けて、町民に対して特定健診の重要性について理解を促進する手段を改めて整理する。未受診者に対しては個別の受診勧奨を実施していく。 ・受診時の感染症対策を継続するよう、住民に周知する。 ・特定保健指導については、電話や案内による実施勧奨を積極的に行っていき、また集団健診では初回面接の実施体制を整えていく。実施率が伸びなければ、訪問指導の回数を増やしたり、土日に保健指導を実施することを検討する。 ・がん対策については、ピロリ菌検査等によるがん予防の促進やがん検診受診率向上のためにナッジ理論とソーシャルマーケティングの視点を取り入れた資料を作成するとともに、ハガキなどによる個別検診受診勧奨等にて引き続き精検未受診者へのフォローを実施していく。 ・令和5年度は受診票のリニューアルを行い、分かりやすく整った情報を伝えるデザインへ変更し、受診率の向上に繋げていく。 ・感染症対策を踏まえた適切な医療機関の受診について対象者に周知する。